

# デیلیー・ジーザス・ニュース #286

木曜日...指導と逮捕の日：

## 最後の晩餐

イエスは「主の晩餐」を制定する

マルコ14章22-25節 ( 並行聖書：マタイ26章26-29節、ルカ22章17-20節、コリント第一11章23-26節 )

(注: コリント人への第一の手紙本文の上付き文字 ID は、パウロを表す<sup>P</sup>です。)

=====

<sup>P</sup>わたしは主から受けたことをあなたたちに伝えました。主イエスは裏切られる夜、

<sup>L</sup>は ( 過越の食事の ) ( 3 杯目の ) 杯を取り、感謝をささげて言った、 *「これを取って、あなたたちの間で分けなさい。」*

22 一同が食事をしているとき、イエスはパンを取り、感謝をささげてから、それを裂き、弟子たちに与えて言われた。 *「取って、<sup>MT</sup>そして食べなさい。Mこれは私の体であり、<sup>P/L</sup>これはあなた方のために永遠に与えられたものです。私を覚えて、これを守り続けるように命じます。」*

23 夕食の後、同じように杯を取り、こう言われた。

24 *これは、多くの人のために流されるわたしの血による新しい契約です。<sup>MT</sup>罪の赦しを得させるために。<sup>P</sup>これを飲むたびに、わたしを覚えてこれを守り行わなければならない。*

<sup>M</sup>そして感謝をささげてから、それを彼らに与え、皆がそれを飲んだ。

25 イエスは言われた。 *「よく聞きなさい。新しいぶどう酒を飲むその日までは、わたしは決してぶどうの実から造ったものを飲むことはない。<sup>MT</sup>わたしの父の王国、すなわち神の王国であなたたちとともにいるのです。」*

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = <sup>MT</sup>、マーク = <sup>M</sup>、ルカ = <sup>L</sup>、ヨハネ = <sup>J</sup>、使徒行伝 = <sup>A</sup>。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書書を識別します。さらに、*赤いイタリック体はイエスの言葉を示します。* 旧約聖書の引用は大文字で書かれる

*"the whole truth, and nothing but the truth about Jesus"*

# THE DAILY JESUS NEWS

An ATJ Ministries Publication

## コンテキストダイジェスト

位置	エルサレムの上の部屋
タイムライン	4月上旬 ( 39ヶ月目 )
イエスの生涯の文脈	第8段階：受難週
	D. 木曜日：指導と逮捕の日
	最後の晚餐
タイトル	イエスは「主の晚餐」を制定する

## コメント：

今日の朗読は、イエスが肉体を持って地上にとどまった最後の夜、「最後の晚餐」の部分を締めくくります。イエスは最後の過越祭を、弟子たちのためにご自身の「新しい契約」の記念晚餐を制定することで締めくくられました。この記念晚餐は、すべてのキリスト教徒が守る二つの儀式、(1) 洗礼と(2) 主の晚餐のうちの一つです。宗派によっては、これら二つの儀式に加えて他の儀式（または秘跡）を加える場合もありますが、これら二つはイエスに従うすべての信者にとって最低限守られるべき儀式です。

水のバプテスマは一生に一度の経験です。一方、主の晚餐は継続的に行われる儀式です。イエスは聖餐の頻度を命じられたのではなく、ただそれを守り続けることだけを命じられたのです。毎日、毎週、四半期ごと、そして毎年といったパターンで、一部のクリスチャンは聖餐を受けています。重要なのは、私たちが主を記念するこの簡素な儀式に、定期的に、継続的に参加するというパターンを持っていることです。

今日の朗読は、コリント人への第一の手紙第11章にある使徒パウロの言葉が含まれている点でユニークです。今後の朗読では福音書以外の聖書の言葉も取り上げますので、この慣例について簡単に説明しておきます。

DAILY JESUS NEWSの目標は、聖書に基づいてイエスの生涯における出来事と言行録をすべて網羅することです。四福音書にはこの情報の大部分が含まれていますが、すべてではありません。

イエスの生涯には、昇天後の言行録、そして聖書（ヨハネの黙示録）に基づいて将来語られるであろう言行録がすべて含まれているため、イエスの生涯を包括的に研究するには、このすべての情報を網羅する必要があります。イエスの過去、現在、そして未来の生涯と宣教活動に関する聖書的内容をすべて網羅している点が、DAILY JESUS NEWSをキリストの生涯に関する他の出版物とは一線を画すものになっています。

パウロによる主の晩餐制定の記録はその好例です。コリント人への第一の手紙は、おそらく西暦56年に書かれたと考えられています。これは、ルカとヨハネの福音書の出版よりも古く、おそらくマルコとマタイの福音書よりも古いと考えられます。言い換えれば、イエスが晩餐を制定された際に何が起こったかをパウロが書き記した記述は、その晩の記録の中でも原典の一つであり、したがって最も重要なものです。したがって、彼の言葉は、すべての並行記述の内容を一つのテキストにまとめようとする聖書的要約に含めるべきです。同様に、今後のDJN朗読には、使徒言行録、書簡、そして黙示録の内容も含まれることになります。

さて、主の晩餐に再び注目してみましょう。ルカが、主の晩餐の前にイエスが杯を取り、それを配ったと記していることから、主の晩餐の制定は過越祭の儀式における4つの「杯」のうち3番目の杯の後であると位置づけることができます。これらの「杯」はそれぞれ、過越祭において異なる意味を持っていました。

イエスは過越祭で用いられた無酵母の平たいパン（ウェーフアー）を一枚取り、それを裂いて弟子たちに配りました。感謝の祈りを捧げた後、イエスはそれがご自身の体を象徴し、私たちのために永遠に（ギリシャ語完了形）捧げてくださったことを説明されました。言い換えれば、ご自身の体を捧げられたのは一度きりのことでした。しかし、それによって成し遂げられた成果は永遠に残るのです。そしてイエスは、この記念のパンを食べるたびに、ご自身を思い起こし続けるようにと命じられました。この晩餐は、イエスと、イエスが私たちのために成し遂げてくださったことに関するものです。

イエスは次に同じように杯を取り、感謝をささげてから弟子たちに配られました。そして、これは私たちの罪の赦しのために流された新しい契約の血を表しており、私たちはイエスの記念としてこれを飲まなければならないと言われました。

過越祭は古代文化において一般的だった、契約を記念する食事でした。現代でも、結婚記念日を祝う際にほぼ同じことを行います。結婚記念日は、二人の間の契約、つまり約束です。記念日は結婚そのものを成立させるものではありませんが、二人の関係を確立した約束を祝い、記憶し、新たにします。

同様に、過越の晩餐は、神がご自分の民をエジプトの奴隷状態から救い出し、血を流すことによって彼らと契約を結ばれたことを毎年記念する儀式でした。過越の晩餐はその契約を記念するものでした。

主の晩餐は、契約の記憶と更新の食事でもあります。イエスは「新しい」契約を確立するために、ご自身の血を流されました。新しい契約には、罪の赦しを含む4つの具体的な約束が含まれています。罪の赦しは、他のすべての約束を可能にするものです。主の晩餐を守るとき、イエスを血によって新しい契約の造り主として覚え、イエスが私たちのために恵みの新しい契約を無償の賜物として可能にするために払われた代価に感謝と賛美と栄光を捧げることが大切です。

キリスト教の様々な宗派やグループは、主の晩餐に関して様々な見解や慣習を持っています。しかし、この重要な箇所において、根本的な真理は主から直接与えられています。主が語り、命じられたことは、聖餐に見る更なる意味の次元の共通の基盤として、すべてのクリスチャンを一つに結びつけています。細部では違いがあっても、私たちは皆、イエスのこの言葉を共有しており、キリストの体において一つに結ばれています。

応用：

新しい契約の4つの約束を暗記しましたか？

新しい契約はエレミヤ書31章31-34節で預言され、ヘブライ人への手紙、特に8章7-13節で引用され、説明されています。新しい契約にある神からの4つの約束は、イエスに従うすべての人にとって基本的な知識であるべきです。結局のところ、イエスは私たちのためにこの4つの約束を確立するために命を捧げられました。これは決して小さなことではないのです。

まだ覚えていないのであれば、新しい契約の4つの約束を暗記し、聖餐を守るたびにそれについて考えてください。

あなたはどれくらいの頻度で聖餐式を行っていますか？聖餐式はあなたにとってどのような意味を持っていますか？「わたしを記念して」パンを食べ、杯を飲むというイエスの命令に、どうすればもっと忠実に従うことができるでしょうか？